

海外留学・海外研修 危機管理マニュアル (学校用)

佐賀女子短期大学
グローバル教育センター

(2025年2月12日作成)

(公表日:令和7年3月30日)

1. 共通事項

(1) 対象範囲

このマニュアルの対象者は、本学所属の学生・教職員とし、このマニュアルにおける危機管理の対象は、原則として、本学が許可または承認する派遣、海外研修、海外出張、受入れ等とする。個人渡航等本学の許可や承認の範囲外のもの是对象外とするが、本学所属の学生・教職員に被害が発生し、大学としての対応が求められる場合には、このマニュアルに準じて取り扱う。

(2) 事前対策

派遣・受入れを行う留学担当者は、安全に学生・教職員あるいは研究者（以下「学生等」という。）に対し派遣・受入れをするために、必要に応じて以下の事項について 事前オリエンテーションを実施し、学生等への注意喚起を行う。

なお、グローバル教育センターまたは派遣・受入れを行う留学担当者は、海外安全マネジメント、海外安全短期集中セミナー受講の指導、専門家によるセミナーを開催することにより危機管理意識を高めるよう努める。

① 派遣の場合

i 指導・助言

派遣を行う留学担当者は、派遣地域・国の社会・文化・政治的状況、国際情勢及び流行疾患等の安全に関わる情報を把握し、学生等に対し、適切な指導・助言を行う。

ii 連絡体制の整備

派遣を行う留学担当者は、危機が発生した場合又は発生する恐れがある場合の連絡体制を整備し、学生等に周知するとともに、派遣日程、所属・活動場所、海外旅行保険情報、パスポート情報、住所及び連絡先等の重要な情報を把握する。

iii 健康状態のチェック

派遣を行う留学担当者は、派遣期間がおおむね1か月を超える場合、学生等に健康状態をチェックするように指導する。また、感染症が流行している国・地域へ派遣する場合には、必要に応じて予防接種の必要性の説明を行う。なお、教職員を6か月以上海外派遣させる場合は、労働安全衛生法により大学は当該教職員に健康診断を受けさせる義務がある。

iv その他

グローバル教育センターは、派遣を行う留学担当者の要請等に基づき協同してこれを行う。

② 受入れの場合

i 受入れ時オリエンテーション

学生等を受入れる留学担当者は、パスポート情報、連絡先情報（住所、電話番号、電子メール等）を把握するとともに、国民健康保険、国民年金に加入させると共に、学生教育研究災害傷害保険、入院・手術、賠償責任等に対応した保険への加入してもらう。

また、当該留学担当者は、地震、交通事故、火災等想定される危機と対応について、学生等に説明し、注意を喚起する。

ii 連絡体制の整備

学生等を受入れる留学担当者は、危機発生時の連絡窓口を明確にし、留学担当者における、特に休日の連絡窓口（指導教員等）の徹底を図る。

iii 健康状態のチェック

国際交流センターは、学生等を受入れる留学担当者及び保健室と協力して定期健康診断の受診を徹底する。

（3）危機事象発生時の対応

① 対策本部

事務局長は、その所掌する事項において危機事象が発生した場合に、危機レベルに対応した対策本部を設置する。対策本部を設置する。対策本部は、危機事象の把握、危機事象からの回復、損害の軽減に対して関係者に指示し、危機事象の収束後にはその報告書を作成する。

- ・危機レベルに応じた責任者は別表1のとおりとする。
- ・海外滞在中の事件・事故発生時の対策本部構成員等一覧は別表2のとおりとする。

② 派遣・帰国の判断

派遣・帰国の判断は、外務省海外安全情報の安全対策の4つの目安（カテゴリー）によることを原則とする。感染症に伴う危険レベルもこれに準じる。

カテゴリーがレベル2（「不要不急の渡航は止めてください。」）であれば、原則として派遣は中止とし、渡航中の場合は、帰国を指示する。カテゴリーがレベル3（「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」）あるいはレベル4（「退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」）であれば、派遣は中止とし、渡航中の場合は、帰国を前提とし安全を最優先する。

派遣・帰国の判断は、学科長、事務局長、グローバル教育センター長が行うものとする。ただ

ただし、全学的に対応する必要がある場合は、学長の判断によるものとする。

派遣・帰国の判断

区分	安全対策の4つの目安（カテゴリー）			
	「レベル1:十分注意してください」	「レベル2:不要不急の渡航は止めてください」	「レベル3:渡航は止めてください（渡航中止勧告）」	「レベル4:退避してください。（退避勧告）」
渡航1ヶ月前	実施	原則中止	中止	中止
渡航1ヶ月前から渡航前日	実施	原則中止	中止	中止
渡航中	実施	帰国を指示	帰国	帰国

注 渡航1ヶ月前を判断の基準としたが、これは参加者（学生等）および関係者（保護者等）への周知期間及びキャンセル料の発生しない合理的な期間ということであり、実施する事業の内容により期間を短縮・延長することも可とする。

※1 渡航先の安全状況等を総合的に勘案し判断する。

※2 現地の医療水準、航空機の状況等を総合的に勘案し判断する。

安全対策の4つの目安（カテゴリー）（外務省 海外安全ホームページより）

カテゴリー	内容
レベル1	「十分注意してください。」 その国・地域への渡航、滞在に当たって特別な注意が必要であることを示し、危険を避けていただくよう、おすすめるものです。
レベル2	「不要不急の渡航は止めてください。」 その国・地域への渡航に関し、渡航の是非を含めた検討を真剣に行っていただき、渡航される場合には、十分な安全措置を講じることをおすすめるものです。
レベル3	「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」 その国・地域への渡航は、どのような目的であれ延期されるようおすすめるものです。また、場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性の検討や準備を促すメッセージを含むことがあります。
レベル4	「退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」 その国・地域に滞在している全ての日本人の方々に対して、滞在地から、安全な国・地域への退避（日本への帰国も含む）を勧告するものです。この状況では、当然のことながら新たな渡航は延期することが望まれます。

③ 情報収集と情報の共有

海外との情報収集・共有においては、次のことを原則とする。

ア 大学側の窓口担当者は、現地の担当者と同じ言語の使える者とする。

イ 大学側の窓口担当者は、危機事象の収束まで変更しない。

ウ 大学側の窓口担当者は、必要に応じて補助者をつけることができる。

エ 大学の窓口担当者及び補助者は、危機事象の概要を、具体的かつ時系列による記録を取る。危機事象の当事者が複数の場合は、それぞれの記録を取る。

オ 大学の窓口担当者及び補助者は、その知り得た情報を留学担当者に逐次報告する。報告する内容は危機発生報告書（様式4）による。

危機事象の概要の確認

5W1H	収集すべき内容	備考
いつ	危機事象の発生日時	時差に注意
どこで	危機事象の発生場所やその環境	できるならば現地の地図を用意。日本語および英語または現地語で地名を確認。
誰	学生、教員、職員、役員、その他	当事者以外の関係者についても把握
何	人的、物的、精神的、文化的なもの	

どうなった	なくなった、毀損したなど	
なぜ	危機事象の原因	

④ マスコミ対応

マスコミ等報道機関への学校窓口は、事務局長とする。

(4) 海外での危機事象発生時の対応フロー

フローチャート図は別紙「事件・事故が発生した場合のフローチャート」のとおりとする。

(5) 事後対策

① 再発防止策再発防止策

学生等を派遣した部局は、危機事象発生の原因を調査・究明し、今後の課題を整理したうえで、再発防止策を検討する。で、再発防止策を検討する。

② 報告書・情報の共有化

対策本部は、危機事象発生から収束までの間の報告書を作成する。

グローバル教育センターは、対策本部において作成した報告書、派遣した留学担当者による再発防止策等に基づき、危機事象発生の原因を調査・究明するとともに、の評価、反省点、改善策の検討を行う。また、全学に対して、情報の共有化を図る。

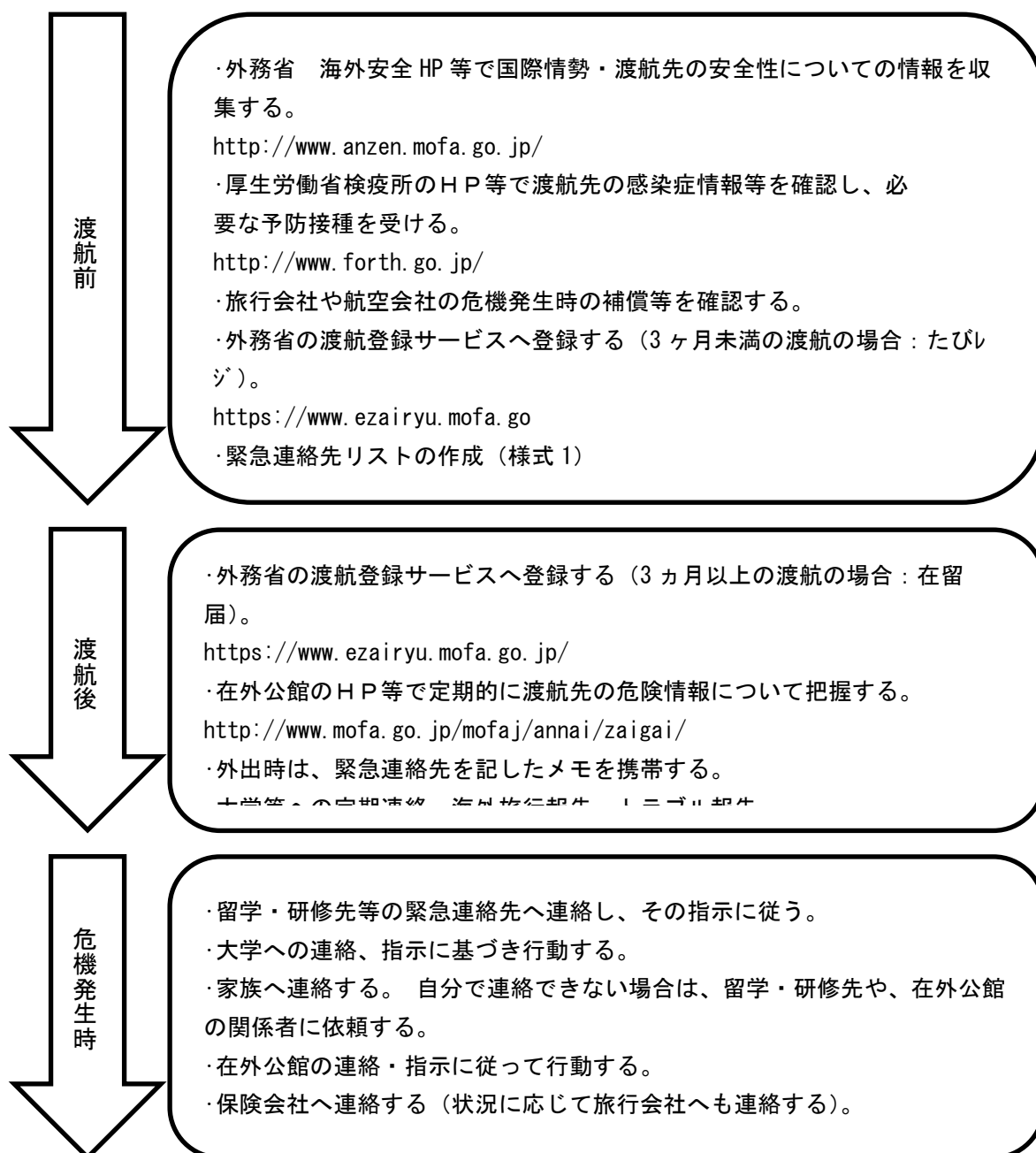
③ マニュアルの見直し

グローバル教育センターは、事後評価による見直し、関係法令等の改正等があった場合には、このマニュアルの見直しを行う。

(6) 個人情報の取り扱い

個人情報の取得・利用・保有については、個人情報保護の取扱規則に基づき適正に取り扱わなければならない。

海外での留学・研修などに係る危機管理対策



様式 1

年 月 日

緊急連絡先リスト

学生が各自で作成し保管 してください。学校への提出は不要です。

家族①	
家族②	
現地友人①	
現地友人②	
引率教員	
現地大学教職員①	
現地大学教職員②	
ホストファミリー①	
ホストファミリー②	
佐賀女子短期大学 (平日 8 : 50 ~ 17 : 50)	+81-952-23-5145
佐賀女子短期大学 (上記時間外、土曜、日曜、祝日)	留学担当者 / センター長
指導教員	
保険会社	
旅行会社	旅行会社の担当者
クレジットカード会社	
渡航先の在外公館	
外務省海外安全相談班	+81-3-3580-3311 (内線 2902、2903)

「+」の表示方法 : 「0」を長押し。(機種によって異なるので、事前に要確認)

様式 2

年 月 日

個人データ

※出発前に記入の上、グローバル教育センターに提出してください。

氏名		学籍番号	
自宅住所	〒 -		
自宅電話番号		携帯電話番号	
メールアドレス			
生年月日	年 月 日	血液型	型
パスポート番号		有効期限	年 月 日
ビザ（査証）番号		有効期限	年 月 日
保険加入の有・無	強制保険（有・無） 任意保険（有・無）		
たびレジ登録	（登録済・未登録）		
治療中の疾患	（有・無） （疾患名：）		
アレルギー	（有・無） （具体的に：）		
緊急連絡先①	氏名：	TEL：	続柄：
緊急連絡先②	氏名：	TEL：	続柄：

留学・研修先			
留学・研修期間	年 月 日～ 年 月 日		
担当者		電話番号	
メールアドレス			
留学・研修目的 「研修・実習・留学・その他（）」			

※上記の個人情報は、本学における海外派遣の危機管理業務の目的以外で使用しません。

海外渡航届

※学生が留学・研修中に、滞在国を出国して第3国を旅行する場合は、この用紙に記入し、渡航前にグローバル教育センターへメールで送ってください。
なお、留学・研修国に帰国したら、その旨をグローバル教育センターへメールで報告してください。

氏名	
旅行先（国・都市）	
旅行期間	年 月 日～ 年 月 日
旅行中連絡先①	
旅行中連絡先②	
滞在先（ホテル名等）	
たびレジ登録日	年 月 日
その他 （特記事項があれば記入）	

佐賀女子短期大学 グローバル教育センター
住所：〒840-8550 佐賀県佐賀市本庄町大字本庄 1313 番地
TEL：0952-23-5145 E-mail：kokusai@asahigakuen.ac.jp

危機発生報告書

※第1通報者がこの報告書に基づいて、グローバル教育センターへ電話連絡をしてください。その後、確認のため、メールをしてください。

報告者名			
留学先			
学生連絡先 (Email, 電話)			
発生日時		年 月 日 (曜日) 時 分	
発生場所			
人的被害	区分		備考(学籍番号・保険加入の有無・その他)
	病気		
	怪我		
	その他		
物的被害	区分		
	持ち物		
	金銭		
	その他		
発生状況		できる限り具体的に記入してください。 ①いつ ②どこで ③何が ④どのようになったかを詳細に記入すること。	
情報源		<input type="checkbox"/> TV等マスコミ報道(会社名:) <input type="checkbox"/> 引率教職員からの事故連絡(連絡者名:、連絡先) <input type="checkbox"/> 家族からの連絡(家族氏名:、続柄、連絡先) <input type="checkbox"/> 危機管理会社からの連絡(担当者名:、連絡先) <input type="checkbox"/> その他(氏名:、連絡先)	
連絡すべき関係者等			

佐賀女子短期大学 グローバル教育センター

住所: 〒840-8550 佐賀県佐賀市本庄町大字本庄 1313 番地

TEL: 0952-23-5145 E-mail: kokusai@asahigakuen.ac.jp

危機管理レベル表と対策本部構成員等一覧

別表1 危機レベルについて

危機レベル	責任者	概要
高	学長	死亡、重体、行方不明、生死不明（テロ、誘拐など）、犯罪行為の加害者となった場合等 (大学全体で対処する必要がある場合)
中	副学長	負傷・病気（入院した場合）、自然災害・大規模事件事故等が発生した場合等 (基本的に帰国の判断を必要とする場合)
低	グローバル教育センター長	上記以外（軽症、物的被害等）

※中レベル以下の場合においては、上位者に逐次報告を行うものとし、上位者の判断により対策本部長を変更することができる。

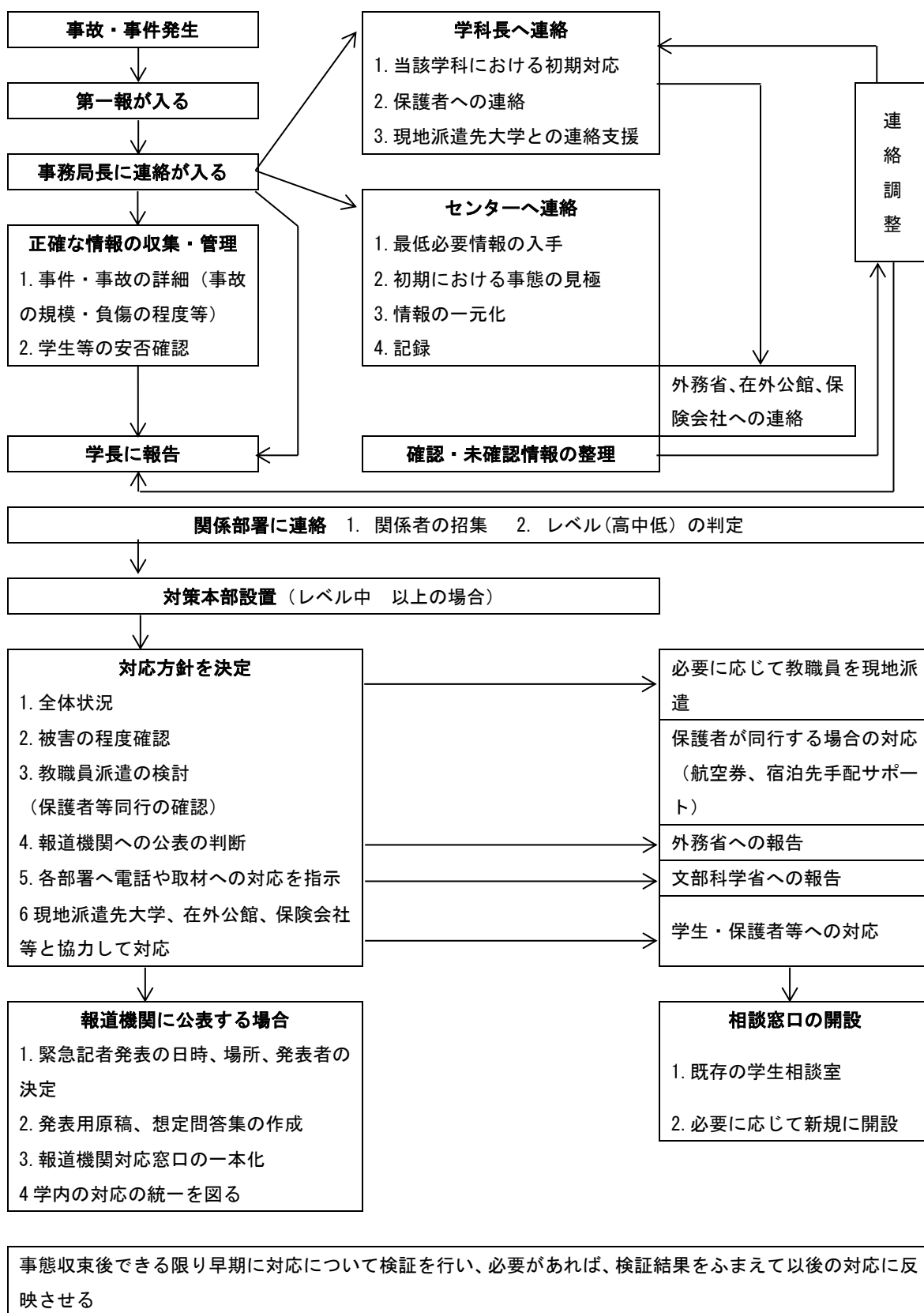
※高レベルの場合、以下に組織体制、事務分担の概略を記載する。

※危機レベル中以下においては、この概略に準じた組織体制で事務を分担する。

海外滞在中の 事件・事故発生時の対策本部構成員等一覧

名称	構成員	
学科内対策本部	学科長、実習等担当教員	
大学内対策本部	学長及び運営委員会委員、当該実習担当等教員、その他関係教職員、グローバル教育センター長	
学内対応 (連絡調整窓口)	事務局長	
学外担当窓口	報道機関対応	事務局長
	現地派遣先大学	当該学科
	在外公館対応	グローバル教育センター長
	外務省対応	事務局長 (事務局)
	文部科学省対応	事務局長 (事務局)

海外滞在中に事件・事故が発生した場合のフローチャート



大学における海外留学に関する危機管理ガイドラインチェックリスト

1. 「自分の身は自分で守る」という学生の意識啓発に向けた取組の実施

1-1 「自分の身は自分で守る」という基本原則

渡航先の治安状況を学生自身が事前に熟知し、日本にいるときは意識を切り替えることにより事件・事故を防ぐことができることを学生に理解させるよう指導しているか。	
---	--

1-2 「自分の身は自分で守る」ための心構え

学生に対して、「自分の身は自分で守る」ための心構えについて指導する機会を設けているか。	
---	--

1-3 危機等に関する情報収集のためのツールやその活用方法について

学生が留学計画の渡航先を決定する上で、危機等に関する情報を収集する必要性や外務省の海外安全 HP 等情報収集のためのツールについて学生に指導しているか。	
--	--

1-4 留学中の連絡先の登録について

渡航先での連絡先や国内の緊急連絡先を登録するよう指導しているか。危機事象が発生した場合に備え、留学中は常に所在を明らかにするよう、留学前に学生に指導しているか。	
--	--

渡航先での連絡先、国内の緊急連絡先の登録方法等について具体的に指導しているか。	
---	--

在留届や「たびレジ」の登録の必要性や手続きについて周知しているか。	
-----------------------------------	--

1-5 事件・事故等に巻き込まれた場合の対応

海外留学中に生命、身体が危険にさらされるような事態が生じた場合は在外公館の援護等を依頼することが重要であることを周知しているか。また、渡航前に学生に渡航先の在外公館の連絡先を確認させているか。	
--	--

危機事象の発生の場合の大学側の窓口を事前に学生に周知しているか。	
----------------------------------	--

危機事象の発生の場合の学生や保護者からの相談体制は構築されているか。	
------------------------------------	--

1-6 海外旅行保険について

海外旅行保険に加入させているか。その際に補償内容を確認し、保護者にも共有させているか。	
---	--

大学が学生や保護者から保険加入にあたって助言できるような体制が整備されているか。	
--	--

2. 大学における危機管理体制の整備

2-1 意思決定ルート の 確立

学生が事件・事故に巻き込まれた場合の対応策の決定方法、決定過程、最終的な決定に関し、権限と責任が明確となっているか。	
--	--

2-2 意思決定の判断基準の策定

外務省の危険情報に応じて注意喚起発出の有無、留学継続の可否等の判断基準を設け、学生に周知共有されているか。	
---	--

2-3 学生の海外留学状況の把握

学生の海外留学について、渡航期間、渡航場所、滞り場所などの情報を学生に届出させる体制整備がなされているか。	
---	--

2-4 留学中の渡航先及び国内連絡先の把握

危機事象発生時に渡航中の学生に情報の伝達、注意喚起、安否確認ができるよう連絡ルートを確認しているか。	
学生が事件・事故に巻き込まれた場合にすみやかに連絡が取れるよう国内の学生の緊急連絡先などを把握する体制を整えているか。	
学生が事件・事故に巻き込まれた場合に連絡が取れるよう渡航先の最寄りの在外公館の連絡先を把握しているか。	

2-5 大学における学生からの連絡窓口の設置

学生が事件・事故に巻き込まれた場合に日本の在籍大学にも連絡を取れるように指導をしているか。	
休暇中や夜間を含めた学生からの緊急連絡を受けることができる体制整備をしているか。	

2-6 学生の連絡先等に関する安全情報の収集

大学は、各国在外公館 HP や「たびレジ」を活用し、学生の渡航先の安全情報を収集し、活用しているか。	
安全情報の確認のための学内体制を整備し、危険度に応じてあらかじめ対応方針を定め、マニュアルとして共有しているか。	
学生が事件・事故に巻き込まれた場合の在外公館を通じた情報収集や現地における情報収集ができる体制を整備しているか。	

2-7 学生の連絡体制の確認・共有

関係者間であらかじめ情報伝達ルートを確認し、共有されているか。特に執行部への迅速な伝達体制が整備されているか。	
---	--

2-8 関係省庁の連絡先の確認・共有（文部科学省及び外務省）

関係する省庁に情報共有・相談がなされる体制が整備されているか。	
---------------------------------	--

2-9 巻き込まれた学生や周囲の学生等のケア

学生が事件・事故に巻き込まれた場合、家族との連絡や必要なサポートを行う体制を整備しているか。	
事件・事故に巻き込まれた学生の周囲にいる学生に対してもケアできる体制が整備されているか。	

2-10 対外的対応

外部からの問い合わせへの対応のルールを定めているか。対応者として学内責任者から一元的に対応する体制となっているか。	
---	--